



## ジビエを有効活用 (1/24)



▲料理を実演する藤木シェフ

嶺南地域で数多く捕獲されるシカやイノシシなどの獣肉（ジビエ）を使った料理講習会がパレア若狭で行われました。

講習会には、長野県にあるフランス料理店「オーベルジュ・エスポワール」の藤木徳彦オーナーシェフを迎え、ジビエ料理のコツを学びました。

藤木シェフは、シカ肉を使ったポアレの調理を実演しながら、「ジビエは低温でじっくりと火を通す。時間をかけることが大切」など調理のポイントを説明しました。

参加した約 30 人の飲食業者や狩猟関係者は、熱心にメモをとったり、藤木シェフに調理方法などを質問していました。



## いつもありがとう (1/25)

町内小学校の児童が、給食の食材を栽培・収穫している生産者と一緒に給食を味わいました。

この交流会は、給食に出されている食材や生産者に感謝しようと全国学校給食週間にあわせて毎年行われているものです。

この日は、梅の里小学校に生産者の田辺登志枝さんと大下節子さんを招待し、児童 57 人と一緒に給食を味わいました。

その後、給食センターの高木恵栄養士から学校給食についての説明があり、児童の代表が「野菜を作るときに心がけていることは何ですか」と質問すると、大下さんは「安全で、安心な野菜作りを心がけており、手間ひまかけて愛情を込めて作っている」と答えていました。



▲児童といっしょに給食を味わう生産者



▲コイの煮付けを食べる園児



## 三方湖のコイを知ろう (1/25)

気山保育所の園児が三方湖で捕れたコイの煮付けを味わいました。

この取り組みは、冬の味覚のひとつである三方湖で捕れるコイを知ってもらおうと、町が鳥浜漁業協同組合と協力して企画したものです。

この日、鳥浜漁業協同組合の増井増一組合長が同保育所を訪れて、かりん組の園児 13 人に写真を見せながらコイについて説明し、増井組合長が持参したコイの煮付けを味わいました。

コイを初めて口にしたという松林歩武くんは、「初めて食べたけど、こんなに美味しかったんだ」と話し、ほかの園児もあっと言う間に煮付けを平らげていました。



▲表彰を受ける同校の渡辺教頭（写真右）  
（神奈川県横浜市）



### 一瞬の勝負（1/27）

第8回若狭町子ども会かるた大会が、ショッピングセンターピアで行われました。

大会には、町内から58チーム213人が参加し、相手より一瞬でも速く取ろうと、上の句が詠まれると、スッと手を伸ばして札を取り合いました。

参加者は、相手に札を取られると悔しそうな表情を浮かべますが、すぐに気持ちを切り替えて次の札に集中していました。

試合結果（①優勝、②準優勝、③3位）

Aブロック（①南前川A ②気山・上瀬A ③気山・上瀬B）

Bブロック（①相田 ②鳥浜A ③上野）

Cブロック（①チームをとめ ②岩屋 ③気山・上瀬F）

Dブロック（①藤井B ②南前川B ③きらやまA）

Eブロック（①きらやまC ②きらやまD ③気山・上瀬H）



▲豆腐づくりをする参加者ら



### 岬の誇り（1/26）

第11回トム・ソーヤースクール企画コンテストで、岬小学校・三方中学校岬分校の活動が最優秀賞にあたる文部科学大臣奨励賞を受賞しました。

同コンテストは、自然体験活動の振興にあたり、全国の学校や団体から自然体験の企画案を公募し、選考の上で優秀団体を支援や表彰をするものです。

同校は、大敷網漁や干物づくり体験活動をはじめ、イベントを通じての販売活動など積極的に取り組み、地域社会との関わりで自尊感情や郷土愛を高める工夫を「PRIDE OF MISAKI（岬の誇り）」として多様なメニューの企画案を提案しました。

同校の取り組みは、長年継続している体験活動をベースに新たな体験活動を加え、継続の大切さや楽しさを表していると高く評価されました。



▲真剣勝負を繰り広げる児童ら



### 一緒に作って交流しよう（1/31）

町内の女性認定農業者同士による交流会が中央公民館で行われました。

この取り組みは、交流を通じて女性農業者同士のつながりを強め、町おこしや地産地消の取り組みを進めようと町が企画したものです。

この日、約20人の女性認定農業者が参加し、参加した農業者が栽培した大豆を使って豆腐づくりに挑戦しました。

参加者は、自分たちで作った豆腐や黒米のご飯、山内かぶら汁を味わいながら、「楽しかった、今後いろいろな食材持ち寄って交流したい」と話していました。



## 新年の力作が勢ぞろい (2/1 ~ 2/15)



▲展示された年賀状を眺める来場者

年賀状展が三方B & G海洋センターで行われました。

同展は、三十三公民館が企画したもので、今年地区の住民が受け取ったり、送ったりした年賀状23点が展示されました。

展示された年賀状には、絵手紙や手作りのゴム判が押されたもの、中にはクロスワードパズル風に作られたユニークな作品もあり、見ているだけで楽しい気分になります。

年賀状は、年始の挨拶や自分の近況を伝えるためのひとつの道具ですが、展示された一枚一枚からは、差出人から受取人への温かい気持ちもしっかりと伝わってきました。



## 若狭町の特産を料理に (2/8)

町の特産品や地場産の食材を使った料理の研究発表会が美方高校で行われました。

この取り組みは、町が同校食物科に特産品を使った料理研究を依頼し、生徒が1年間にわたって調理方法など研究してきたものです。

発表会には、森下町長をはじめ、調理師専門学校の講師やフランス料理店のシェフなどが、用意された13品の料理を味わいました。

特産の福井梅を存分に使った“梅カラメルショコラ”を作った吉岡翔太さんは、「梅の酸味とチョコの甘さの組み合わせは難しかったが、ショコラにすることでバランス良くできた」と、出来栄えに満足した表情で話していました。



▲シェフから料理について質問される生徒 (写真左)



◀記念品を受け取る立志者の代表

▶立志者を前に講演する小堀さん



## 人生の目標を立てる (2/8)

若狭町立志式がパレア若狭で行われました。

立志式は、古来、数え年15歳の男子が成人したことを表す“元服”などを行った年であったことから、人生のひとつの区切りとして、人生の目標や志を立てることを目的に開催されています。

この日、町内の中学2年生156人を対象に式が行われ、生徒たちは「生活」、「友情」、「学習」、「未来」、「ふるさと」をテーマに作成した、クラスごとの誓いの言葉を全員で力強く唱和しました。

式典後、鳥浜出身で大野警察署刑事生活安全課長の小堀義広さんが「原点はわが故郷にあり」と題して記念講演を行いました。



◀ユニークに学習発表する児童ら



## 学んだ熊川の魅力 (2/10)

熊川小学校の児童による学習発表会が、熊川公民館で行われました。

発表会は、同校の児童が1年間学習してきた取り組みを発表するもので、特産の熊川葛の製造体験を通じて学んだことや、熊川地区の人物を取材して感じたことなどが発表されました。

児童らは、「地域の食材や人物を取材したことで、それぞれの人たちが熊川地域をよくしていきたいと感じた。自分たちもこの地域と一緒に取り組んでいきたい」と話し、今回の学習で地域愛をさらに深めたようです。

その後、三世代の地域住民が児童らと餅つき大会を行い、その場で手作りの餅を味わいました。

▶三世代で仲良く餅つきをする参加者ら



## べんがら色で彩る音色 (2/10)

若狭町まつりのプレイイベントが、ホテル水月花で行われました。

このイベントは、毎年9月に行われている若狭町まつり「若祭」をアピールしようと実行委員会運営部門会のメンバーが企画したものです。

会場には、まつりのテーマカラーであるべんがら色の和灯籠が約1,000本設置され、3人の演奏者によるバレンタインコンサートが行われました。

町内外から訪れた来場者と宿泊客ら約100人は、べんがら色に彩られた幻想的な会場の中で奏でられる美しい音色に耳を傾けていました。

同実行委員会では、9月開催のまつりに向けてイベント内容を企画しています。

●問い合わせ 若狭町まつり実行委員会事務局 (観光交流課内) TEL 45-9111



▲幻想的なべんがら色の和灯籠に囲まれながら歌声や音色を奏でる演奏者ら



## 一刀に込めた気合い (2/11)

第8回若狭町少年剣道大会が三方体育館で行われました。団体戦に7団体17チーム、個人戦に81人が参加し、みぞれが降る寒さの中、一刀一刀に気合いの入った熱戦を繰り広げました。

試合結果 (①優勝、②次勝、③3位)

団体の部 男子①上中 ②向笠 ③ぎらやまA、西部  
女子①向笠A②向笠B③ぎらやま、剣誠館

個人の部

5・6年男子①西村 健 ②田辺政伸 ③江戸運生、田中大輔  
4年男子①前田颯斗 ②坪内大河 ③重田航希、清水奏太  
3年以下男子①奥村龍也 ②松村怜治 ③江戸隆暁、江戸稜哉  
5・6年女子①池田二千字②田辺有羽 ③久保 渚、中西優佳  
4年女子①南元優那 ②入江美緒 ③山崎朋花、川上祐奈  
3年以下女子①赤尾奈津 ②山中志保 ③赤尾十和、河原奈那美



▲するどい一刀を振りかざし熱戦を繰り広げる選手ら

## 「伝統や文化が薫る町の特産品」

昨年末に京都にある老舗料亭「菊乃井」から、山内かぶらを食材として使っていただけという大変うれしい連絡がありました。

新年に入り早速にも懐石料理の一品として提供され、多くの皆さんに山内かぶらを味わっていただけました。

山内かぶらは、長い間種採りのみで引き継がれていたのですが、伝統野菜を復活させたいという地元の方の熱意が実を結び、一昨年から栽培を再開し、少しずつですが販路も拡大しているところです。

秋の収穫祭には私も寄せていただきました。今までのご苦労が実を結び今後への期待に胸が躍り、生産者ともども喜びを分かち合いました。

山内かぶらの栽培に賛同していただきました地元の皆さんのおかげで、年々生産量も増加しており、町内の学校給食で子どもたちに味わってもらうこともでき、県内のレストランにも利用していただけるようになりました。

若狭町には特産品と呼ばれるものがまだまだたくさんあります。

冬の風物詩「たたき網漁」でも知られる「三方湖のコイ」や日本三大葛のひとつに数えられる「熊川葛」など、町の歴史や風土、伝統と共に守り伝えられている大変貴重なものだと思います。

3月2日、3日には恒例の「梅まつり」が開催されます。毎年、3月の初旬には梅の花が咲きほ

こり、少し早い春を感じさせてくれます。「福井梅」は肉厚で種が小さく食べごたえがあると大変人気があり、日本海側最大の梅の産地をこれからも守り伝えていかなければなりません。

従事者の高齢化や後継者不足など全国的にも農業を取り巻く状況は厳しいものがありますが、昨年にかみなか農楽舎が「グリーンツーリズム大賞」を受賞するなど明るい話題も聞くことができました。

これからも地産地消はもとより、県内外に広く町の特産品をPRし、多くの皆さんに味わっていただけるよう生産者の皆さんとともに歩んでいきたいと思っています。皆さん元気に頑張りましょう！

## 広報クイズ

しりとり  
うずまき  
クイズ



携帯でアクセス  
メールでも応募してネ

### ■応募方法■

キーワードを解いて、しりとりをしながら右回りにことばを入れてください。6つあるピンクのマス（アルファベット順に並びかえると、答えになります）の文字をアルファベット順に並びかえると、答えになります。ハガキに答えと広報紙の感想や意見、住所、氏名を書いて、「〒919-1393 若狭町総務課」（住所は省略可）まで送ってください。電子メールでも受け付けます（soumu@town.fukui-wakasa.lg.jp）。正解者の中から抽選で5人に図書カードをプレゼントします。当選の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

締切 3月15日（金）必着。

### ◇キーワード◇

- ① 3月3日は何の日？女の子の健やかな成長と幸せを願い人形を飾ります。
- ② 東日本大震災の大津波に耐えた奇跡の一本松で知られる岩手県南東部の都市「〇〇〇〇〇〇市」
- ③ 七福神が乗るおめでたい船のこと
- ④ 三方B&G海洋センターで2月1日から15日まで展示されていたものは何？（ヒント：本紙10ページ記事）
- ⑤ 「ホーホケキョ」と鳴く鳥と言えば？
- ⑥ お米を炊いてご飯にする調理器具。

- ⑦ 童謡「桃太郎」の歌詞で、桃太郎が腰につけていたのは何？
- ⑧ 「クインテット」日本語にすると？

### 【ヒント】

3月23日リニューアルオープン！

《答え》

若狭三方縄文〇〇〇〇〇〇

①			D	②	B
⑤			⑥		
				A	
	⑧				
	F			⑦	E
	④	C			③

●前回の答え 「リッジ」 ①ソコ ②キキョ ③ケラウドゴルフ ④フェソク ⑤グリーンツーリズム ⑥ムジントウ ⑦ウイキ

# HAPPY BIRTHDAY

## Doll Festival



# 3歳です

このコーナーでは、3月に3歳を迎える町内にお住まいのお子さまに登場していただいています。なお、ご応募いただいた方のみ掲載しています。

今回は平成22年3月生まれの3歳になるお子さまです。



◀ **呉林 真衣ちゃん**

3月3日生まれ（向笠）

親：久徳・智代さん

食べることが大好き！風邪もひかぬ、元気一杯です😊



◀ **藤川 愛菜ちゃん**

3月10日生まれ（海士坂）

親：貴浩・美紀さん

毎日、もりもりご飯を食べてるよ



◀ **河村 壮馬くん**

3月13日生まれ（相田）

親：雄三・頌子さん

保育所のみならず、いつも遊んでくれてありがとう！



◀ **青池 悠斗くん**

3月16日生まれ（気山）

親：和宣・知美さん

電車・車・重機大好き。元気な男の子です。

次回の3歳ですは平成22年4月生まれのお子さまが対象です。掲載方法は、23ページの暮らしのカレンダーをご覧ください。

# 文芸ひろば

### 冠句

#### 若狭町冠句の友

ほろ苦い本気で惚れた片思い  
時迫る輝く命待つ産湯

小林 伸（三田）  
浜頭 錦波（小川）

### 川柳

#### ほっと川柳

輝きは世界に届くスポーツマン  
闘志燃え胸に輝く金メダル

中塚よしゑ（脇袋）  
宮本 貞子（末野）

#### 川柳湖畔

文机のキズ方言で喋りだす  
家紋家具思い出つまる宝物

大野 文子（井崎）  
岡本 通子（日笠）

### 短歌

#### 上中短歌会

母逝きて喪中葉書を書き終へる  
もう倉敷へ行くこともなし  
休み田に真白に蕎麦の花咲きて  
朝日に露の光りてまぶし

玉井 和子（三宅）  
田中 一枝（天徳寺）

#### かそり歌会

大津波は七万本の松を呑み  
残りに立てる奇跡の一本  
小春日のごとくありたし我がこころ  
初日のぼりて一日耀ふ

中村りゑ子（気山）  
前田 鈴子（田上）

### 俳句

#### 海士坂俳句会

轟音の波打ち返す冬の浜  
初詣思わず振り向く長い髪

内藤 増之（海士坂）  
池田マリ子（海士坂）

#### 大鳥羽山水俳句会

百歳を生きませ恩師賀状書く  
白足袋のしかと踏ん張る親子獅子

原田 洋美（大鳥羽）  
松宮 妙子（大鳥羽）

絆・クイズ  
3歳・ニギハ

# 情報BOX

## 案内 町長・町議会議員選挙

任期満了に伴い若狭町長選挙および若狭町議会議員選挙が執行されます。皆さんの生活に最も直結した選挙です。あなたの一票を大切に投票しましょう。

### ■告示日

4月9日(火)

### ■投票日

4月14日(日) 7時00分～20時00分

※期日前投票は4月10日から実施します。

### ■立候補予定者説明会

日時：3月19日(火) 13時30分から

場所：若狭町中央公民館

### ●問い合わせ

若狭町選挙管理委員会

(総務課内) TEL 45-9109



## 案内 軽自動車税の納期が変わります

平成25年度から軽自動車税の納期限が変更となります。それに伴い、納税通知書の発送も5月中旬を予定しています。

	変更前	変更後
軽自動車税	4月30日	5月31日

※現在お持ちの継続検査用納税証明書は、有効期限が平成25年4月29日となっておりますが、5月30日まで引き続いて使用できます。

### ●問い合わせ

税務住民課 TEL 45-9101

## 案内 軽自動車税の減免申請

身体や精神に障害のある方で一定要件を満たす場合に、所有する軽自動車などに対しての減免制度があります。対象になる方は税務住民課へ申請してください。

### ■該当車両

①普通自動車の減免を受けている方を除く

②障がい者本人が所有する車両(障がい者と生計を一にする方が運転しても良い)

③18歳未満の障がい者と生計を一にする方が所有し、専らその障がい者の通院や通学、生業などに使用する車両

### ■申請に必要なもの

・身体障害者等手帳(交付基準日：4月1日)

・運転免許証

・自動車検査証

・印鑑

### ■申請期限

納税期限(5月末)の7日前までに申請を行ってください。期限を過ぎた場合の申請は原則として受けられません。

●問い合わせ 税務住民課 TEL 45-9101

## 案内 廃車手続きはお早めに

軽自動車税は、4月1日現在に所有している軽自動車や軽二輪車、原動機付自転車、農耕車などに課税されます。

そのため、すでに廃車しているのに、廃車手続きをしていないと課税されてしまう場合がありますので、廃車手続きがされているか今一度確認をしてください。

### ■廃車手続き

①原動機付自転車など若狭町ナンバーの場合(旧三方町、旧上中町のナンバーを含む)は、税務住民課で手続きをしてください。

②軽自動車などの福井ナンバーの場合は、軽自動車検査協会福井事務所、または最寄りの自動車販売店へお問い合わせください。

### ●問い合わせ

税務住民課 TEL 45-9101

軽自動車協会福井事務所

TEL 0776-38-1509

## 案内 下水道使用料人員変動届

この春から大学や専門学校へ進学される方や、転勤される方はいませんか。進学や転勤で、若狭町に住所を置いたまま町外で生活する場合、下水道使用人数の変動措置を受けることができ、使用料の減額対象となります。

対象となる世帯は、「世帯人員割変動届」に必要な事項を記入の上、各集落の下水道委員に署名・押印してもらい、水道課または上中サービス室へ提出してください。

なお、使用料に反映されるのは、原則として申請書を提出した翌月からとなります。

※住民票を移して、転出・転入される場合には、変動届の提出は不要です。



●問い合わせ  
水道課 TEL 45-9103

## 案内 役場の業務時間が変わります

平成25年4月1日から、役場職員の業務時間を次のとおり変更します。ただし、パレオ若狭や公民館など各公共施設の利用時間に変更はありません。

変更前	8時30分～17時30分
変更後	8時30分～17時15分

なお、下記の窓口については、4月30日（火）までは、移行期間として17時30分まで業務を行います。

税務住民課、上中サービス室、  
環境安全課、会計課、福祉課、

今後、効率的な業務による住民サービス向上に努めてまいりますので、皆様のご理解をお願いします。

●問い合わせ  
総務課 TEL 45-9109

## 案内 難病講演会&患者交流会

二州健康福祉センターでは、前向きな療養生活を送るために、ストレスを減らすコツを学ぶ講演会や交流会、個別相談を実施します。

- 開催日時  
3月9日（土）13時30分～16時00分
- 開催場所  
敦賀市福祉総合センター「あいあいプラザ」
- 内容
  - ①講演会「マインドフルネス ストレス低減法」
  - ②難病患者交流会
  - ③ピアカウンセリング〔要予約〕  
(同じような病気を抱える方による個別相談)
- その他  
難病を抱える患者やその家族、関心のある方が対象で、参加費は無料です。参加を希望される方は3月4日（月）までに二州健康福祉センターへ申し込みください。

●申し込み・問い合わせ  
二州健康福祉センター地域保健課  
TEL 0770-22-3747

## 案内 こころの健康講演会&相談会

若狭地域自殺対策連絡協議会では、こころの健康講演会と悩みごと相談会を開催します。

- 開催日時  
3月20日（水）13時30分～16時30分
- 開催場所  
小浜市総合福祉センター「サンサンホーム小浜」
- 内容
  - ①講演会「うつ病が私にくれた贈り物」
  - ②専門家による個別相談会〔予約者優先〕
  - ③リラックスコーナー
- その他  
個別相談会は、法的トラブルやこころの病気、人間関係、育児、就労、また自死遺族の方の相談ができ、相談料は無料です。なお、事前予約された方が優先となります。個別相談を希望される方は若狭健康福祉センターへ申し込みください。

●申し込み・問い合わせ  
若狭健康福祉センター地域保健課  
TEL 0770-52-1300